

試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

# コ ン テ ン ツ 学 I

〔インターネット（筆記）〕

## 注 意 事 項

1. 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。
2. この問題冊子は、ページあります。問題は問あり、第1問は

次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

拡大を続ける①マッシュアップ型UGC（ユーザー・ジェネレーテッド・コンテンツ）の著作権関連問題を解決し、収益化可能なプラットフォームを構築することによって、二次表現のさらなる拡大を支援する。（「二次表現」は、②二次創作などの間接二次表現とマッシュアップ等の直接二次表現を含む。）インターネットによってもたらされた創作活動の民主化は、様々な優れたコンテンツを生み出し、素晴らしい才能を持ったクリエイターを世に輩出した。その速度は以前では考えられないほど急であり、作品は次々と生まれては消えていく。かつては大企業がその役割を務めていた著作権などの諸問題は、もはやこれには追いつかない。私たちはこの問題を解決し、二次的著作物を含めた創作文化をサポートしていく。

問1 上の文章は、マッシュアップ型UGCを対象としたあるサービスの概要である。そのサービスの名称を記せ。

問2 下線部①に関連して、「C」から始まるUGCの類義語を略さずに記せ。また、UGCのウェブプラットフォームまたはUGCを活用したキャンペーンとして適切なものを以下の①から④から2つ選べ。

- ① Shot on Apple - Mother's Day
- ② Amazon Web Service
- ③ ニコニコニュース
- ④ Pixiv

問3 下線部②に関連して、間接二次表現に含まれるものを次からすべて選べ。

- ① インターネットから素材をダウンロードし、オーサリングソフトで製作した二次的著作物
- ② 動画構成や演出を共有した二次的著作物
- ③ キャラクターの服装や言動を共有したコスプレ
- ④ キャラクターや絵柄を共有した同人誌

問4 同人誌などの二次創作を積極的に認めるため、漫画家の赤松健が提唱したマークは何か。

問5 動画音声型マッシュアップコンテンツに関連して、次の文X・Y・Zについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の1から4から一つ選べ。

X 複製権、公衆送信権、翻案権、同一性保持権、一部コンテンツでは、肖像権及び人格権の侵害、侮辱罪、名誉毀損罪に当る可能性がある。

Y 職務上著作物の場合、通常著作権はクリエイター個人に帰属する。

Z アニメ「けものフレンズ」の場合、「けものフレンズプロジェクトA」が製作委員会であり、民法上の任意組合であるため、利用許諾を行うにあたっては、それに対して行うものとする。著作者人格権の一部の不行使については、これも同じである。

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. X：正 Y：正 Z：正 | 5. X：誤 Y：正 Z：正 |
| 2. X：正 Y：誤 Z：誤 | 6. X：誤 Y：誤 Z：誤 |
| 3. X：誤 Y：誤 Z：正 | 7. X：正 Y：誤 Z：正 |
| 4. X：正 Y：正 Z：誤 | 8. X：誤 Y：正 Z：誤 |

問6 次の文章は、岡本健・遠藤英樹共著「メディア・コンテンツ論」からの抜粋である。空欄に適する語で埋めよ。

著作権法は、より多くの財を生み出すインセンティブを著作者に与えるために必要だと考えられている。それを著作権の(1) \_\_\_\_\_ 論という。一方で、著作物は著作者の天賦の才が生み出すもので、創作者の精神が反映されたものだから、それを保護するのが当然なのだという説もある。それを(2) \_\_\_\_\_ 論という。(1)論では著作権は法律で作られた人工的な権利であり、(2)論ではそれは法律ができる以前からあった権利だと考える。